

With

利用者と共に

職員と共に

地域と共に

vol.40



2018.12/1

発行所 障害者支援施設 高森荘

〒399-3101 長野県下伊那郡高森町山吹4473-1
TEL.0265-35-6811 FAX.0265-35-6812
E-mail: t356811@takamori.ne.jp

発行者 高森荘施設長 入野友宏

高森荘からの情報発信 ウィズ



地区の皆様との交流



ある日の高森荘

竜口ふれあいスポーツ祭 に参加

10月7日(日)平成30年度竜口ふれあいスポーツ祭が開催され、入所者・職員計17名で参加させて頂きました。

常会対抗では縄結び・貯蓄リレーに出場し、九つの常会の中でなんと準優勝!

有志参加の種目にも出場させてもらい利用者はもちろん職員も楽しませていただきました。

地区の皆様のご理解・ご協力もあり事故や怪我もなく楽しい一日を過ごせたこと嬉しく思います。竜口地区の皆様、本当にありがとうございました。

法人としての動き

児童福祉施設の建設と用地取得

昨年八月児童福祉の大改革として厚労省から「新しい社会的養育ビジョン」が示される。

当法人慈恵園では、その方針に基づき「地域小規模施設」の設置を決断する。法人内で用地を検討した結果、当施設南側の第2避難所が適地と判断、地域の方々の理解も得られ、十月末着工年度内完成を目指している。

並行し、駐車場確保と今後の事業展開を視野に、昨年度から当施設東側に隣接する農地取得を計画する。地主、農業委員会等のご協力ご支援により年内には用地造成の運びとなる。



育成会交流会

8月1日、毎年恒例の育成会交流会が上平・竜口地区の小学生、高森中学校の学生さん約70名をお招きし開催されました。今年は、かざこし子どもの森公園にある「おいで館」を拠点として活動している「おもしろ科学工房」の皆様を協力していただき、風の流れを感じる「サイエンスジョー」や化学に因んだ制作活動「浮沈子作り」を行いました。参加した子ども達は、大きな声を出し喜んだり、時には集



中したりと様々な姿で楽しんでくれました。



地元のボランティアの方々に支えられて

環境整備ボランティア

今年も高森町商工会女性部、松川町社協の皆さんにボランティア活動で施設内の窓周辺の環境整備を行っていただきました。周辺を田畑で囲まれた環境のため、「夜間の明かりに虫が集まる→虫を捕まえてに蜘蛛が巣を作る→カエルが虫を食べる→カエルが食へに蛇が来る」と日々激しい食物連鎖が繰り返され、あつという間に窓周辺が汚れてしまいます。お忙しい中、大変ありがとうございました。

アルプスサーモン料理提供

7月20日に、高森町のご当地グルメ検討委員会の方々にアルプスサーモンを振る舞って頂きました。アルプスサーモンを使ったカルパッチョと甘酢あんかけの2品を夕食に提供して頂きました。利用者さんもなかなか食べることでないアルプスサーモンを頂き、おいしかったという声が多くあがりました。このような食事は初めてで食材を提供して下さる方々のおかげで今回おいしい食事を頂くことができました。



とても貴重な機会となりました。

なごみんピック

9月1日(土)、第二回高森荘大運動会「なごみんピック」を開催しました。

例年行ってきた秋祭りに代わり、去年から運動会を行ったところ、利用者さんからも好評でした。今年度も「運動会がしたいー」との希望が多く、みんなが心待ちにしてくれていたおかげか、当日はとても活気あふれた盛り上がりを見せてくれました。

オーソドックスな運動会の競技に加え、高森荘独自のオリジナル競技も考えてあり、利用者さんや保護者の方、来賓の方、参加してくれた全ての皆さんの笑顔を見ることが



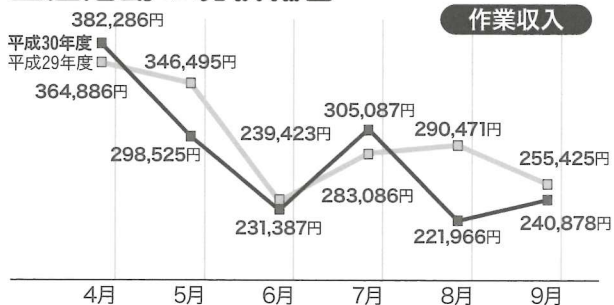
できました。一緒に盛り上がり楽しんでくれた皆さん、ありがとうございました！



生産活動

新たな仲間やスタッフを迎え、今年度も生産活動を皆で協力し行っています。それぞれが持つ病気や障害に加え、歳を重ねる事による様々な課題を抱えながら「今自分が出来る事を一生懸命頑張るんだ!!」という姿勢に励まされ、圧倒される毎日です。今年度に入り、新たな企業からの作業依頼が数多くあり、必要とされることに感謝しております。今後も企業様の期待に応えられるよう努力して参りますのでご支援よろしくお願ひします。

生産活動の現状報告 (上半期)～前年度との比較～



見守りシステム aams導入

平成30年4月に、株式会社バイオシルバーのaams介護というベッド上での見守り支援機器2台購入し、現在まで3名の方に使用して頂きました。導入した経過として、リスクマネジメント委員会を中心に、急変時等へのスムーズな対応や、労働環境改善、業務負担軽減を目的に検討を重ねてきました。使用後、最も有効だと感じた点は夜間巡視等で実際に居室に行かなければ利用者様の様子を把握することが出来ませんが、使用後は支援員室のモニターで心拍や呼吸の状態がリアルタイムで観察でき、容態悪化等への対応や心の準備が事前に来るようになり、夜勤職員の精神的負担が軽減された事だと感じています。

今後とも様々なリスクへの対策を念頭に介護支援機器を有効に活用して行きたいと考えています。



2018年6月～11月 行事

紙面の写真・氏名については、利用者、ご家族、職員の同意を得て掲載しております。



双葉会交流会

5/29 530運動

6/2 第39回 障がい者スポーツ大会

6/6 行事食 焼肉

6/24 保護者会 前期環境整備

6/26 緑ヶ丘中学校 交流会
32名

6/27 双葉会 交流会

6/29 北小 音楽会



行事食 焼肉



北小音楽会



夏季火災避難訓練



第39回 障がい者スポーツ大会

7/30 夏期 火災避難訓練

8/1 育成会 交流会



高森町民生児童委員 交流会

8/28 水害移送訓練(夏)

9/1 なごみんピック

9/11 鈴木敏美 カラオケショー

9/13 高森町民生児童委員 交流会



義務教育研修機関初任者研修

10/7 竜口ふれあいスポーツ祭



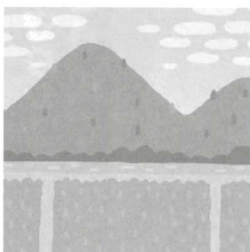
530運動

編集後記

早いもので今年も残すところ1ヶ月となりました。

今年の夏は記録的な猛暑となり気温が高い日が続きましたが、10月に入ると暑さも次第に落ち着き高森荘から見える色づいた山々からは冬の訪れを感じます。

寒さが増すこれからの時期は感染症が心配ですが健康には十分留意し、新しい年を皆で元気に迎えられるよう過ごしていきたいと思えます。



ボランティア受け入れ

7月23日

高森町商工会女性部
(施設内環境整備)

19名

9月20日

松川町社協

(施設内環境整備)

16名

実習・研修の受け入れ

8月8日

義務教育研修機関初任者研修

8月20日～31日

28名

松本短期大学実習

2名